

# 校内研修計画

山梨市立日川小学校

## 1 本校の課題

昨年度の全国学力学習状況調査や県学力把握調査の結果から、基礎基本の定着は改善に向かっていることがわかった。しかし、基礎的な計算や漢字を読んだり書いたりすること、主語述語の関係を見いだすということについてはまだ十分でないという実態が見られた。既習学習が定着するよう、朝学習など継続して取り組んでいく必要がある。

また、必要な言葉を使い設問で問われている内容を的確に表現することに課題があることもわかった。目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書いたり、いくつかの資料を関連づけて着目していることを解釈し、それを記述したりすることに課題が見られた。

普段の学習を見ると、自分の考えをもてなかつたり、発表したりすることをあまり得意としない児童が見られる。また、自分の考えを順序立てて、相手にわかりやすく伝えたり、文章の要点を読みとり文章でまとめたりすることが苦手な姿も見られる。また、文章に表すということにじっくりと取り組むという時間があまりとれず、伝えたいことを中心にして文章を構成したり、決まった文字数で文章を書いたりすることが苦手な様子が見られる。

昨年度の校内研究のまとめで出された課題としては、「学び合い」「伝え合い」に課題を感じるという意見も出された。伝えて終わりではなく、理由や根拠を示して論理的に説明したり、自分の考えと比較し、相手の考えのよさを取り入れたりして、より深い学びをどのように成立させるかを考えていく必要がある。

これらのことから、知識や技能の確実な定着と伝え合う力の育成に本校の課題があると考えられる。

## 2 研究主題

自ら学び、豊かに表現し、深い学びに向かう児童の育成  
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して～

## 3 研究主題設定の理由

昨年度までの研究の成果として、授業と家庭学習を有機的に結び付けることが、子供の学習に向かう意欲を高めることや、学習内容の深い理解につながることもわかった。また、計画的に朝学習を行うことによって、基礎基本の定着を図ることができた。長年取り組んできた学級力向上プロジェクトでは、学級の課題を把握し、児童自らが目標を持って学級をよくしていこうとする姿が見られた。

しかし、昨年度の全国学力学習状況調査の結果から、基礎・基本の内容の定着はまだ十分とは言えない。また、問われていることを理解し、必要な言葉を使つて的確に表現したり、資料を読み取ったりする能力も付けていく必要がある。また、言語活動においても、発表の場で終わるのではなく、対話的な活動に至るための手法を取り入れていく必要がある。

そこで、児童の学力向上をめざすためには、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、豊かな表現力を育成するための対話的な学びを実践し深い学びにつなげていくことが大切であると考えた。

そのため、今年度は対話的な活動を効果的に取り入れた授業づくりを行い、深い学びにつながる方法を授業実践をとおして明らかにしていきたい。また、日頃から、児童が主体的に学べる授業の工夫を行い、その視点として「やまなしスタンダード」を取り入れていく。1年間を通じて児童が見通しをもち、主体的に学習に取り組める授業づくりをしていきたい。

## 4 研究の目標

対話的な活動を効果的に取り入れた授業づくりを行い、自ら学び、豊かに表現し、深い学びに向かう子どもを育てる。

5 今年度の研究の具体的内容と方法

【内容】

- ・授業づくり・・・課題を把握する→自分の考えを持ち記述する→理由を示して説明する→対話を通して新しい考えをつくり出す→学習を通して学んだことを振り返る
- ・校内での研修会をおこなう。(先生方をお願いして、短時間で実施)
- ・家庭学習・・・1日の復習を中心とした家庭学習の在り方。
- ・家庭学習がんばりカード(基本的な生活習慣の観点も入れる)。
- ・自学ノート(家庭学習ノート)の取り組み。ノート展示会などをおこなう。
- ・やまなしスタンダードを充実させる。
- ・朝学習・・・児童に実態に合った内容、系統だった学習内容
- ・学級力向上
- ・特別支援

【方法】

- ・対話的な活動を効果的に取り入れる方法について学習をし、実践する。
- ・指導主事を招聘しての研究授業を年に1回行う。
- ・これまでの全国学力学習状況調査の結果から、学年の実態にあった朝学習の持ち方について検討し合う。
- ・ふりかえり中心の家庭学習をどのようにすすめていくか検討しあう。
- ・対話的活動を意識した一人一実践の計画を立てる。
- ・3学期には、一人一実践にまとめる。(A4 2枚程度)
- ・学級力向上は、低学年は、できる範囲で取り組み、3年生以上は、レーダーチャート、スマイルアクション、アンケートを実施する。

年間研修計画

研究主任：今澤 比呂樹

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
自ら学び、豊かに表現し、深い学びに向かう児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して～	算数「ひきざん」	武井美奈子	1	10月	
	算数「九九をつくろう」	竹川きよみ	2	11月	
	はしたの大きさの表し方を考えよう～分数を使って	今澤比呂樹	3	12月	
	算数広さを調べよう	向山 澄	4	11月	
	算数「比べ方を考えよう」	堀井 勝彦	5	11月	○
	速さの表し方を考えよう	飯島裕明	6	10月	
	国語しらせたいな、みせたいな	平塚すみり	特支	10月	

\*上記の内容以外に、「主体的・対話的で深い学び」に関わる学習会や特別支援教育の学習会を計画している。